

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（4日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	舞鶴市	代表者名	市長 多々見良三
担当者部署	人事課	連絡先電話番号	0773-66-1066
担当者役職	係長	担当者氏名	桑田真美
住所	625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044番地		

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	伊藤 文徳
評価	大変よい
上記評価の理由（どのよう なところがよ かったか等詳 細に）	WEB相談について、会津若松市の実例（失敗例と成功例）を具体的にご教示いただき、さらなる改善にむけてイメージをつかむことができました。
アドバイザーへの要望事項	アドバイザー派遣制度は終了しますが、今後とも自治体職員同士として情報交換できれば嬉しいです。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月15日	13時00分	13時30分		30
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 職員	人数 2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	<p>事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） 今までご助言いただいた、窓口支援システム導入、おくやみコーナー、証明書発行機導入、支所業務の本庁窓口一元化について、来年度の計画を報告。支所の一部業務について、専門性の高い職員を本庁に集約することに伴い、既存のWEB会議ツール（zoomやteams）を使って本庁の職員と支所の市民を繋いで相談に対応する予定であるものの、順調にいくのか懸念している。</p> <p>支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） 上記の計画について修正の必要があればご助言いただき、さらに改善したい。</p> <p>アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） 支所と本庁のWEB相談について工夫が必要。工夫が無ければ使われなくなり、存在することも忘れられてしまう。例えば、WEB相談システムを繋ぎっぱなしにしておいてはどうか。支所に行けばいつでもモニター越しに本庁の職員がみえて、今までのように声をかけると気軽に相談できる状況にしておく。その都度接続するよりもこの方法のほうが、市民のマイナスの印象を、ITで便利になったと良い印象をもっていただけるとはならないか。</p> <p>支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい） WEB会議に慣れていない職員が多く、WEB相談ができるかどうか不安に思う職員もいる。市民対職員だけでなく、職員対職員の相談についても上記の方法を試して、支所職員を本庁職員がサポートできる方法を見つけたい。</p> <p>具体的な成果物 最も当てはまるものをリストより選択下さい。②事業に係るシステムを構築できた 現在システム構築中であるが、令和3年3月にシステム構築完了予定。</p> <p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容（具体的にご記入ください） なし</p>	

アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

